

Cースタディ



北谷町の取り組み

- ・スマイルプログラム (H27~)
- ・クラス会議 (R6~)
- ・LDXスクール事業 (R7~)

北谷町教育委員会

2015年（平成27年度）から実施しているアドラー心理学や教育カウンセリングの視点を取り入れた体験型のプログラムです。

年間を通して「仲良くする」「おりあいをつける」「自他理解を深める」等のワークを実施しています。

年3回実施状況調査と『hyper Q-U』調査で「学級集団」や一人ひとりの満足度の推移を踏まえ検証しています。

スマイルプログラム （人間関係づくり）



原作

一般社団法人 教育カウンセリング実践センター

なかむら まさよし
代表理事 **仲村 将義** 先生

どんなことをするの①？

体験を通じた豊かな人間関係づくり・具体的な人付き合いのスキルを育みます。

- ・自分づくり……個々への成長支援
- ・友だちづくり…対人関係の改善と発展
- ・仲間づくり……所属集団の発展と改善



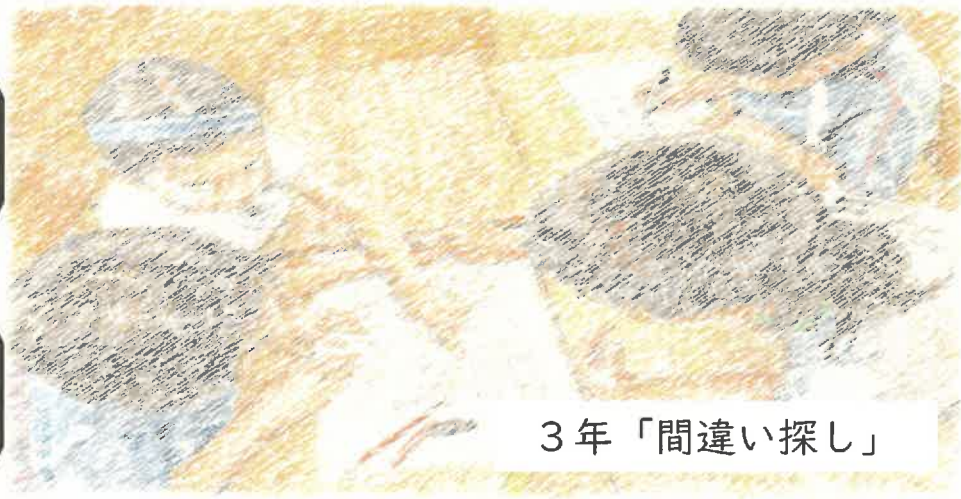
活動の様子



6年「色鉛筆を忘れちゃった」



2年「ふくは何色」



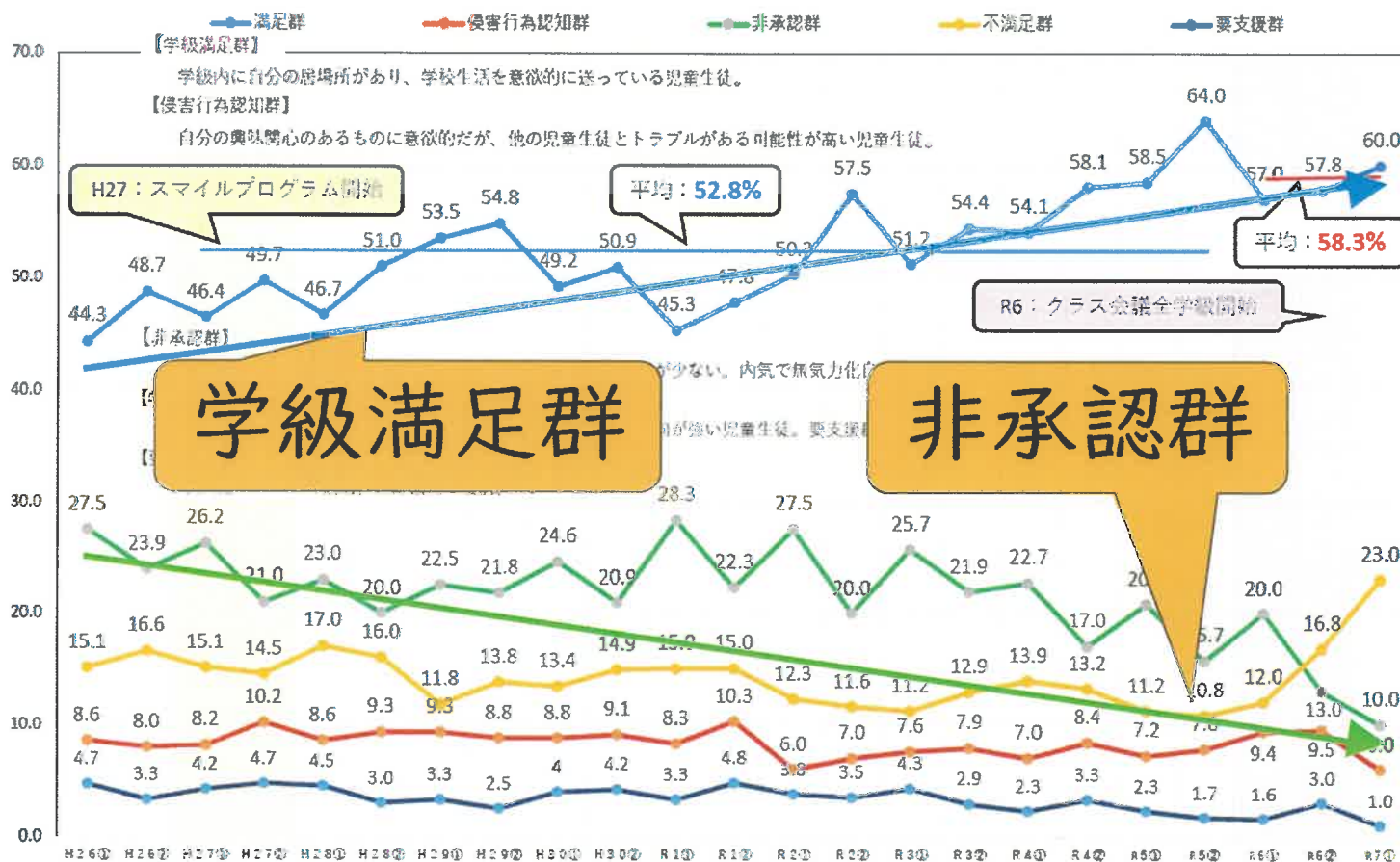
3年「間違い探し」



6年「上手な断り方を学ぼう」

取組の状況はどうなっていますか？

北谷町 Q-U調査経年比較資料 町立小学校 3年生～6年生



【学級満足群】
学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的に送っている児童生徒。

【非承認群】
いじめや悪ふざけを受けてはいないが、学級内で認められることが少ない。内気で無気力化。自己表現が苦手な傾向。
小学校の資料になりますが、中学校でも同様の結果になっています。

これまでの経年結果から、学級満足群の数が上昇し、非承認群の数が減少しています。

上越教育大学教職大学院 教授
赤坂 真二 氏が提唱していて、アド
ラー心理学に基づき、子ども達が主体
となってクラスの課題や個人の悩みな
どを議題にあげ、解決策を見つけてい
く民主的な話し合い活動です。

本町では、深見太一先生の講演会や
ご助言等を頂きながら2024年（令和
6年度）より町立の全学校・全学級で
実施ししています。

クラス会議



あかさか しんじ
赤坂 真二 先生



ふかみ たいち
深見 太一 先生

今までの学級会と何が違うの？

これまでの学級会（学級活動）では、一部の発言力のある子や声の大きい子の意見が通る傾向がありました。

クラス会議では、円になり全員に発言権が保証され、学級の課題や個人的な悩み（例：親にゲーム機を取り上げられたけどどうしたらいいかな…、進路について悩んでいる）などを議題にして、みんなですべて解決策を考えていきます。



コンプリメント (ハッピー・サンキュー・ナイス)

「コンプリメント」とは、ポジティブな雰囲気を作るために、お互いに感謝や賞賛の気持ちを伝え合う活動です。

♡ ハッピー (嬉しいこと) = 個人

自分が経験した嬉しいこと・楽しいこと

♡ サンキュー (感謝したいこと) = 友達

感謝したいこと、誰かに助けてもらったこと

♡ ナイス (賞賛したいこと) = クラスメイト

褒めたいこと、凄いと思ったこと、
相手のいい点



トーキングスティック

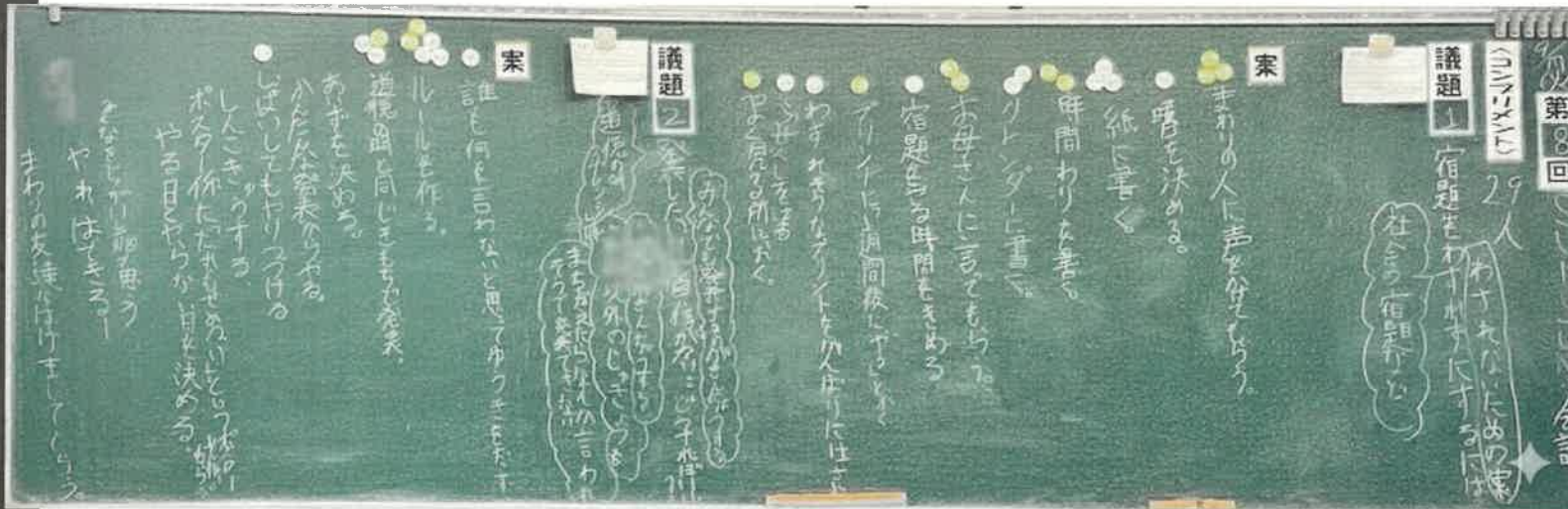
発言権のしるしとなるもののことです。これを持っている人だけが話せるルールで会議を進めます。

この仕組みにより、全員に話すチャンスが生まれ、落ち着いて全員が意見を言える安全な環境をつくり、クラスや個人の問題解決を促す重要な道具です。

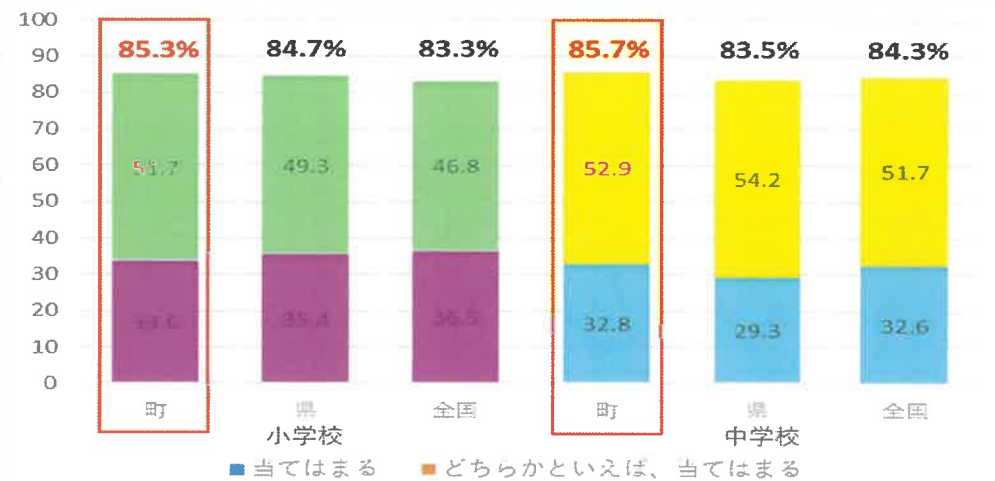
発言が苦手な子には、発言をパスする権利もあります。



北谷町では、トーキングスティックとして北谷町イメージキャラクターの「ちーたん」のぬいぐるみを活用しています。(観光課提供)



(41)あなたの学級では、学習生活をよりよくするために学級会（中：学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを活かして解決方法をを決めていますか



「リーディングDXスクール事業」
とは、1人1台の端末（GIGA端末）
をフル活用して、これからの時代に
合った『新しい学びのカタチ』を全
国に広めるための、モデル校をつく
る取り組みです。

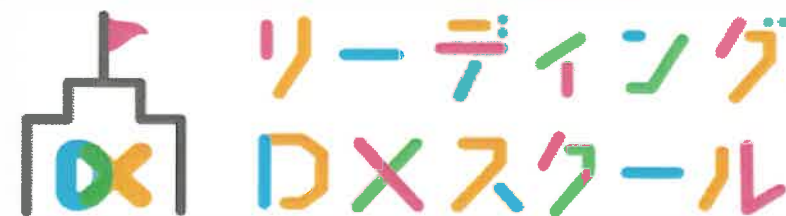


浜川小学校・北谷第二小学校
北谷中学校・桑江中学校



北谷小学校・北玉小学校

令和7年度文科省指定
リーディングDX
スクール事業



リーディングDXスクール事業



全国の小・中・高等学校等から
指定校(261)・協力校(428)・
認定校(65)を設置 **754校**

GIGA×深い学び

情報活用能力の育成

と、育成された力を活かす授業の場面の
実践事例の創出

デジタル学習基盤としての
GIGA端末の活用の実践事例の創出

指定校の実践事例から学ぶ
公開学習会を開催!

全国の教師が共に学ぶ

GIGA
標準仕様 × クラウド環境
十全の活用

どんな授業をしているの？

幅広い状況や目的に対応できるツール（汎用的ツール：北谷町では令和7年度より、Googleツールを活用）と端末保存ではなくインターネットを経由したクラウド保存を活用して、「教師主導」ではなく「**子ども主体の学び**」を目的に授業改善を行っています。



体育の時間に自分たちの動きを動画でチェックしています。



特別支援学級でも活用しています。

★ 導入時のICT活用

- ねらい： 学習に対する興味・関心を高める。
 課題等明確につかませ、見通しを持たせる。



導入

一斉学習

標準仕様アプリで提示

■ 課題の設定

- 本時の目標や学習過程を全体で確認
- 見通しを持たせる



授業Check!

- *子供と共有しているか*
- 単元全体の学習計画を共有している
 - 学習過程を共有している
 - ルーブリックを教諭している
 - 学び方を意識させている
 - 子供の学習状況を把握している

★ 展開時のICT活用

- ねらい： 児童生徒の思考や理解を深めたり、考えや意見を説明したりする。
 クラウドを活用し、他者参照や共同編集で、情報を共有して思考を深める。



展開

個別・協働学習

■ 情報の収集

- ひとり学び（インプット）
必要に応じて情報共有

■ 情報の整理・分析

- ペア・グループでの学び合い

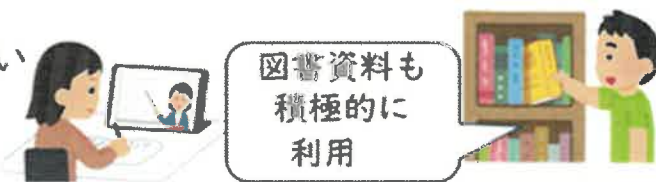
■ まとめ・表現

- 説明する（アウトプット）

見方・考え方を働かせて課題を解決



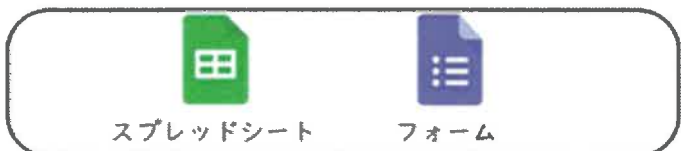
集めた情報を整理・分析し、まとめる



図書資料も積極的に利用

★ 終末時のICT活用

- ねらい： 課題のまとめや学び方を見直し、学習進捗状況の確認、次時への見通しや新たな課題を明確にする。



終末

一斉学習

■ ふり返り

- 学習状況を確認
- 学び方は？
- 新たな課題は？



インプットとアウトプットを繰り返すことで、学習したことが定着

子供の学習状況を把握し適切な学習支援を行う

ティーチング
+
コーチング
+
ファシリテーション



Googleツール&クラウド活用① 他者参

照



友達の学びを参照し、自分の学びも深めます。



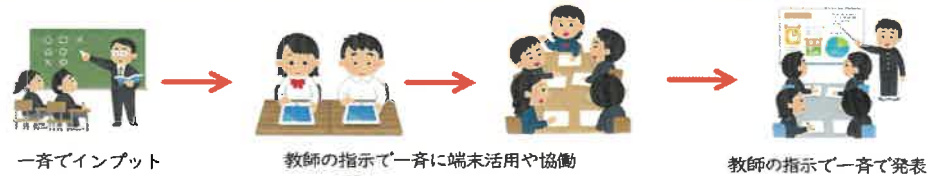
2画面表示で自分の作品の説明をし、聞き手は自分の画面で友達の作品を見ています。

授業中、友達（他者）の考えや情報、成果物などを参考（参照）しながら、自分の学びや思考を深める学習活動のことです。

一人一台端末活用の新旧イメージ

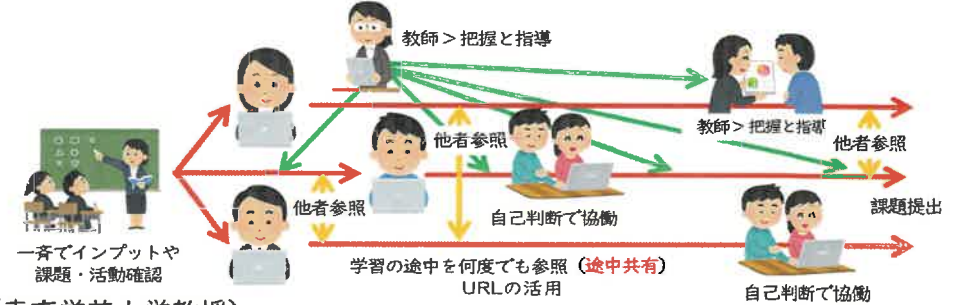
従来授業
+
端末活用

- ・教師の指示によるステップバイステップ
- ・**単線型**
- ・協働すらも一斉



クラウド
活用授業

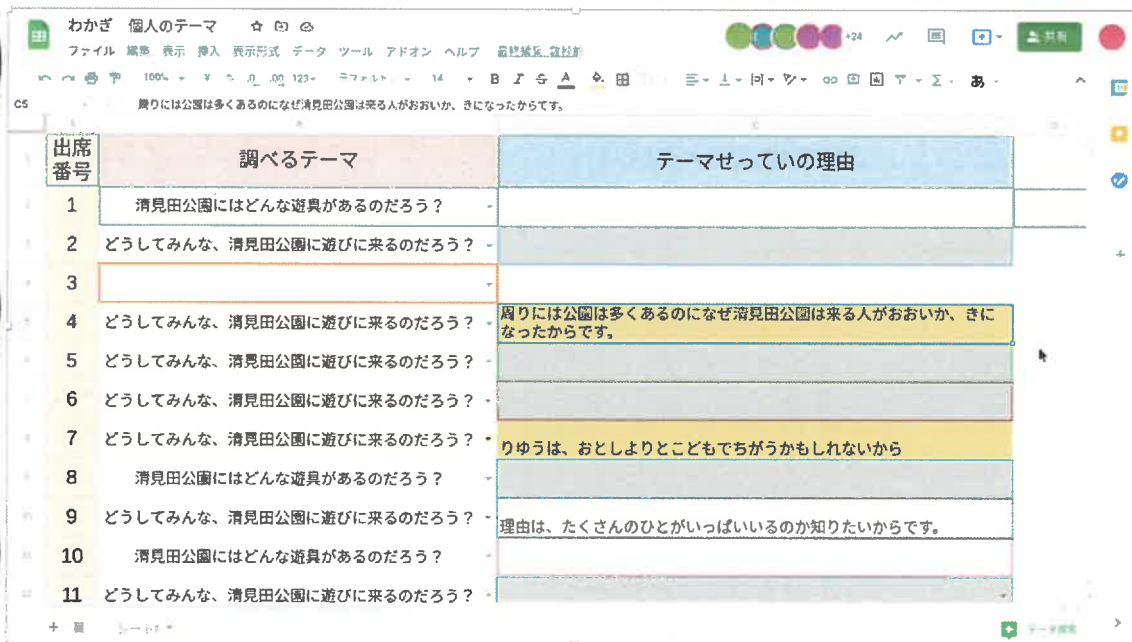
- ・一人一人が主語自己判断で進行
- ・**複線型**
- ・必要な時に、必要な相手と協働
- ・教師は把握と指導



提供：高橋純（東京学芸大学教授）

Googleツール&クラウド活用② スプレッドシート

Googleの表計算ソフトで、教師側では学習の進捗状況をチェックし個別の支援を行ったり、授業のふり返りを共有しています。



出席番号	調べるテーマ	テーマせってい理由
1	清見田公園にはどんな遊具があるのだろうか？	
2	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	
3		
4	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	周りには公園は多くあるのになぜ清見田公園は来る人がおおいか、きになったからです。
5	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	
6	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	
7	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	りゆうは、おとしよりとこどもでちがうかもしれないから
8	清見田公園にはどんな遊具があるのだろうか？	
9	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	理由は、たくさんのひとがいっぱいいるのか知りたいからです。
10	清見田公園にはどんな遊具があるのだろうか？	
11	どうしてみんな、清見田公園に遊びに来るのだろうか？	

